

遺跡は語る、発掘調査速報展

- ▼とき 4月29日(金)から7月24日(日)まで
 - ▼ところ 歴史民俗資料館
 - ▼入館料 無料
 - ▼開館時間 午前9時から午後4時30分まで
 - ▼休館日 毎週月曜日
 - ▼問い合わせ 歴史資料館 ☎(34)5000
- FAX (34)5150

近年、本町では開発に伴う発掘調査が多く行われ、これまでに70を超える遺跡（埋蔵文化財）が発掘されました。発掘が終わった遺跡のほとんどは、工事などによってなくなってしまうのです。しかしながら、地中に眠っている遺跡（古墳、集落、窯跡かまどなど）は、発掘されることによりさまざまなお話をわたしたちに語ってくれます。わたしたちの身近な地域の歴史や先人の暮らし、生活の知恵や工夫を教え、示してくれます。

今回の展示会は、平成16年度に発掘調査された窯跡の調査風景や成果を中心に、埋蔵文化財保護の実情（発掘調査）や身近にある遺跡、当時の人々の暮らしなどについて紹介します。



山茶碗
やまぢゃわん



小皿
こぎら

鎌倉時代の陶器
筋生字辰己山の窯跡(黒笹 G60A、G60B、
G60C号窯)などから出土



灰釉陶器
かいゆうとうき

平安時代の陶器
福谷字根浦の窯跡(黒笹 119号
窯)などから出土



須臾器
すえき

奈良時代の陶器
筋生字辰己山の窯跡(黒笹 35号
窯)などから出土



発掘調査から多くの情報が分かる



出土した陶器は
歴史を知る手掛かり
ださい。

歴史民俗資料館では平成16年度
に、筋生字辰己山地区(黒笹35号
窯、黒笹G60A、G60B、G60C号
窯)と福谷字根浦地区(黒笹119
号窯)の2地区で古窯の発掘調査
を行いました。
今回の展示会ではこれらの発掘
風景の写真や図、壺やかめ、碗や
皿などの遺物の展示を行います。
貴重な歴史資料を見ていただき
身近な地域の歴史に触れてみて
ください。



昨年8月に筋生字辰己山の発
掘調査現場で行われた現地見学
会。地元の筋生地区を中心に多
くの人が参加して、発掘された
貴重な窯跡を間近に見て、地域
の歴史について知識を深めまし
た。窯跡は発掘調査完了後、再
び埋め戻されました。

◆猿投窯黒笹地区◆
猿投山の西南側のふもと(三好
町、名古屋市、豊明市、日進市、
東郷町、刈谷市にまたがる)では、
古墳時代から鎌倉時代(5世紀か
ら13世紀)にかけて焼物の生産が
盛んに行われていました。これ
らの窯跡群は猿投山西南麓古窯群
(通称は猿投窯)と呼ばれ、現在
まで960基を超える窯跡が確認
されています。中でも三好町は奈
良時代から鎌倉時代(7世紀から
13世紀)にかけて最も盛んに焼物が
生産された黒笹地区(三好町全域
と東郷町の一部)の中心でした。



筋生字辰己山の窯跡の空撮写真

